

西条自民
クラブ

川 又 由美恵 議員



- (議案質疑)
- 1 心身障害児(者) 施設整備助成事業について
(一般質問)
 - 2 レジ袋の有料化について

子どもの笑顔を守りたい!

障がい児(者) 施設の整備

問 社会福祉法人同心会が

重症心身障がい児(者)の支援施設を整備することになった経緯、施設の概要及び完成予定はどうなっているのか。また、設置者に対し、市はどのようなサポートしていくのか。



子どもの可能性が発揮されるよう支援を行う

答

これまで本市においては、重症心身障がい児(者)の保護者で組織される

西条市重症心身障害児(者)を守る会からの強い要望も踏まえ、関係機関に対して、施設整備に向けた働きかけを行ってきた。その結果、社会福祉法人同心会が、その要望に応える形で施設整備の計画申請を行い、本年6月に国の事業採択を受けたものである。整備予定の施設は、木造平屋建て、建築面積503・5平方メートル、施設の種別は「児童発達支援」「放課後等デイサービス」「生活介護」の多機能型施設で、訓練室及び特別浴室などを備えている。利

用定員は種別ごとに各5人、計15人であり、来年4月の供用開始を予定している。

今後も重症、心身障がい児(者)及びその保護者に寄り添いながら、施設設置者と連携し、利用促進のための広報周知を行うなど、利用者と設置者との橋渡しに努め、施設の有効活用が図られるようサポートしていきたい。

レジ袋有料化がスタート
課題解決に向けた取組は?

問

本年7月1日からのレジ袋の有料化に伴い、店舗では袋を持っているかの確認のためレジで長蛇の列が生じたり、持ち手がついていないプラスチック袋を多量に持ち帰る人がいる。また、買い控えにつながるなど、今後の経済効果にも影響を与えようであるが、レジ袋有料化の課題解決について、どのように考えるのか。

答

レジ袋の有料化を通じ、市民にごみ問題について考えていただくとともに、ライフスタイルを見直すことごみ削減などにも取り組んでいただきたいと考えている。今後も市ホームページなどで周知・啓発を行ってきたい。

藤井武彦 議員



- (一般質問)
- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
 - 2 自転車の安全利用対策について

市民への周知を!

自転車安全対策

問

社会問題化しているあり運転に関する行為を処罰化した改正道路交通法が、本年6月30日に施行された。今回の改正では、自動車だけでなく自転車についても従来の危険行為14項目に妨害運転を追加し、厳しく取り締まることになった。そのため、交通ルールの遵守はもちろんのこと、危険行為や妨害行為が摘発対象であることを周知する必要があると考える。

また、自転車事故において、約1億円の高額賠償事例など、加害者が多額の損害賠償を求められるケースがある。そういったことから、自転車事故の加害者に対する損害賠償の補償といった経済的救済のために損害保険などへの加入が必要であり、本県では、自転車損害賠償保険などへの加入が義務化されたが、学生に対する加入促進は進んでいるものの、未加入のかたも多いと思われる。今後、これらについて、市民へどのように周知していくのか。